



平成30年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【小山地区】

平成31年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 小山地区交通安全プロジェクト実行委員会	小山地区交通安全推進事業	中央区は自転車の事故が県内でも多く、中央区全体の課題となっている。小山地区では、南北道路及び東西道路の開通に伴って小学校周辺や地域全体の自動車の交通量の増加が認められ、まちづくり会議でも自転車の運転等にさらなる交通安全意識の向上が必要との意見が挙げられている。 現在も交通安全の啓発活動に取り組んでいるところであるが、地区を日常生活の基盤としている子どもや高齢者をはじめとする地区住民の自転車交通マナーをより一層向上させる必要がある。	スクエアードストレートによる交通安全教室を実施し、事故の恐怖心を体験することにより交通ルールを守ることの大切さを啓発し、地区内の交通マナーの向上を図り、自転車事故撲滅を推進する。	交通安全教室の実施 雨天の場合は規模を縮小して体育館で実施する (内容) ・相模原警察署員による交通安全講話 ・スクエアードストレートによる交通安全教室 ・神奈川県警音楽隊、カラーガード隊による演奏、演技 ・啓発物品の配布 (対象) ・小山地区の住民。子どもや高齢者にも参加を促す。(500人程度を想定) (周知方法) ・自治会回覧、小中学校、高齢者関係団体等へチラシ配布。 ・自治会看板や学校、公民館、地区内関連施設等へポスター掲出。 ・地域情報紙への掲載。	H30.7.10	349,000	349,000	349,000
- 相模原市自治会連合会中央区連絡会	中央区振り込め詐欺対策事業 9地区合同事業	全国で多くの被害を出している振り込め詐欺だが、相模原市、中央区もその例外ではなく、平成29年に確認された被害件数は相模原市全域で83件(被害額:約2億3,500万円)、中央区内は41件(被害額:約7,700万円)に上っている。各地区においても対策を求める声は多く、警察や行政の取り組みに加え、自治会をはじめとした、地域の住民自身による啓発活動等も実際に行われている。しかしながら、平成30年に入ってから被害件数は増加傾向にあり、警察・行政と地域とが連携した一層の取り組みが必要となっている。	詐欺被害の中でも特に近年の高齢者の詐欺被害増加に着目し、高齢者向けの詐欺対策を講じることで、1件でも多くの詐欺被害を未然に防ぐことを目的とする。	・振り込め詐欺防止のステッカーを作成し、各地区において自治会加入者に限らず詐欺被害が危惧される高齢者世帯を対象に配布する。 ・ステッカーを自宅の電話機付近に貼ってもらうことで、詐欺に対する意識を高め、被害を未然に防ぐ。	H30.12.13	138,000	138,000	138,000
						349,000	349,000	349,000

9地区合同事業以外の合計額